

今期は従業員DI以外はすべて悪化し、売上高DI、採算DIはマイナスに転じる。先行きは売上高DI、採算DI、業況DI、資金繰りDIが大幅に悪化する見通し。

■全業種DI

	前期 10-12月	今期 1-3月	先行き 4-6月
2-1. 売上高DIの比較(「増加」-「減少」)	2.9	-5.3	-18.5
2-2. 採算DIの比較(「好転」-「悪化」)	1.4	-2.2	-15.2
2-3. 仕入単価DIの比較(「下落」-「上昇」)	-35.1	-44.2	-41.1
2-4. 従業員DIの比較(「不足」-「過剰」)	20.1	18.4	20.0
2-5. 業況DIの比較(「好転」-「悪化」)	-2.5	-8.5	-16.9
2-6. 資金繰りDIの比較(「好転」-「悪化」)	-5.7	-6.3	-14.2

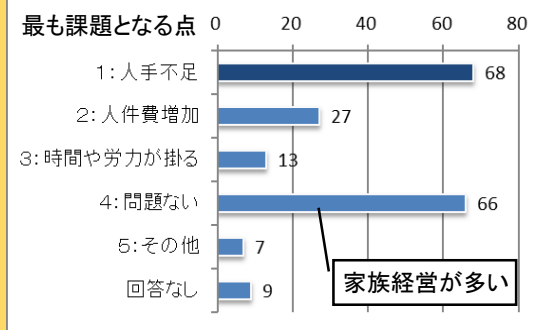
今期の景況感は売上高DIは前期2.9から今期-5.3と悪化、採算DIは前期1.4から今期-2.2と悪化しマイナスに転じた。また、仕入単価DIも前期-35.1から今期-44.2、業況DIは前期-2.5から今期-8.5、資金繰りDIは前期-5.7から今期-6.3と悪化した。唯一、従業員DIは前期20.1から今期18.4とやや改善したが前年同期の12.7との比較では悪化した。

一方、先行きの見通しでは売上高DIが-18.5、採算DIが-15.2、業況DIが-16.9、資金繰りDIが-14.2と大幅に悪化する見通し。従業員数DIは20.0と今期に比べやや悪化の見通し。仕入単価DIは-41.1とやや改善する見込みだが、依然として厳しい状況が続いている。4月以降も米トランプ政権の中国への関税引き上げによる輸出や生産の減少、イランへの経済制裁による原油価格上昇などにより日本経済の輸出・生産環境は一段と厳しくなりつつある。今回の調査結果から景気後退への警戒感を高めるべきである。

■有給休暇取得義務化について

今年4月から施行される「有給休暇取得の義務化」について聞いたところ、「義務化について知っている」：156社（82.1%）と8割を超える企業が有給休暇取得義務化について知っていた。

取得義務化で最も課題となる点について聞いたところ、1位「人手が足りなくなる」：68（35.8%）、2位「特段問題はない」：66社（34.7%）、3位「人件費が増える（残業など）」：27社（14.2%）、4位「運用するのに時間や労力がかかる」：13社（6.8%）となった。

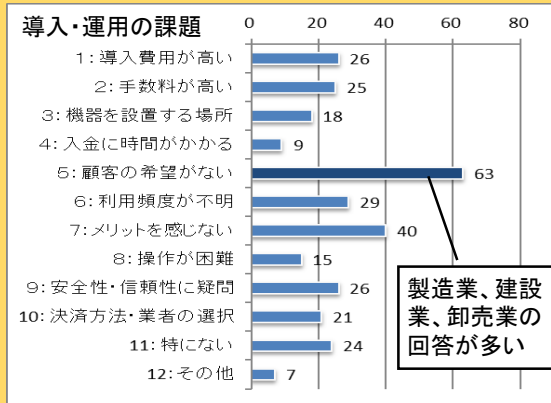


■キャッシュレス決済導入について

キャッシュレス決済の導入状況について聞いたところ、「導入するつもりはない」：107社

（56.3%）、「今のところ導入予定はないが、今後はわからない」：55社（28.9%）、3位「導入している」：12社（6.3%）、「導入を検討している」：3社（1.6%）となった。

導入・運用の課題を聞いたところ。「キャッシュレス決済を希望する顧客が少ない」：63社、「導入のメリットを感じない」：40社、「導入後にどれだけ利用があるかが不明」：29社などとなった。



■第17回リアルタイム景況調査概要

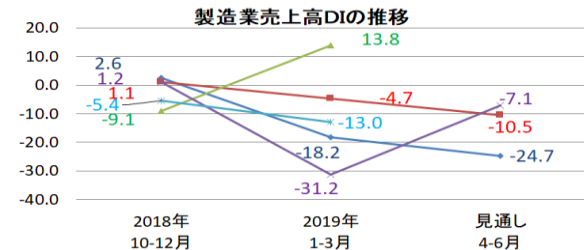
本調査は、市内会員企業（小規模事業者）の景況感や、課題等を広く聴取し、データの集積及び周知、延いては要望事項の取りまとめに供するために、原則四半期に1回実施するものである。

・調査実施期間：2019年4月22日（月）～5月10日（金） ・調査方法：FAXによる送付、FAXによる回答 ・調査対象：会員事業所2,836社（市内小規模事業者） ・回答数：190社

■業種別売上高DI

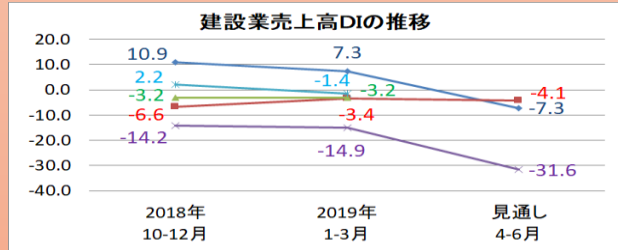
- 川口商工会議所「リアルタイム景況調査」
 - 日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」
 - 中小機構「中小企業景況調査」
 - 埼玉県四半期経営動向調査
 - 全国中小企業団体中央会中小企業月次景況調査
- ※注）先行きは本調査および日本商工会議所LOBO調査、埼玉県四半期経営動向調査

■製造業 今期減少しマイナスに転じる



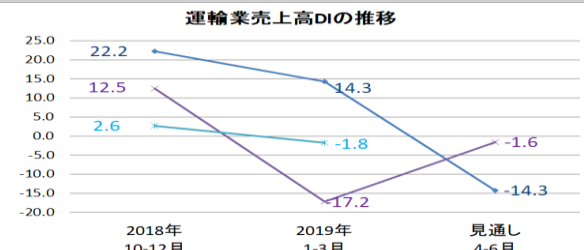
川口市の製造業売上高DIは10-12月の2.6から1-3月は-18.2と大幅に悪化し、マイナスに転じた。先行きは-24.7と更に悪化し、他調査よりも厳しくなる見込み。

■建設業 今期プラスも先行きマイナス



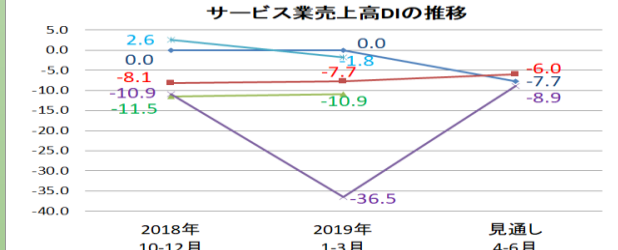
川口市の建設業売上高DIは10-12月は10.9から今期7.3とやや悪化したが、他調査に比べ良好だった。先行きは-7.3と大幅に悪化しマイナスに転じ、日本商工会議所調査を下回る。

■運輸業 先行きは大幅に悪化の見通し



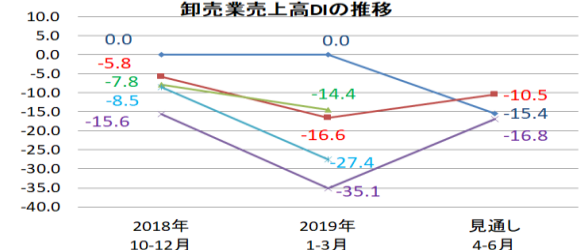
川口市の運輸業売上高DIは10-12月は22.2から1-3月は14.3と悪化したが、他調査に比べ良好であった。先行きは-14.3と20.0ポイントも悪化しマイナスに転じたほか、埼玉県調査と入れ替わった。

■サービス業 今期横ばいだが先行き悪化



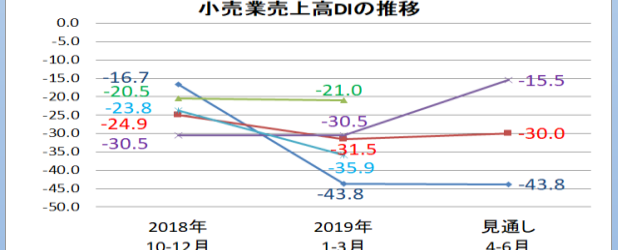
川口市のサービス業売上高DIは10-12月、1-3月ともに0.0と横ばいで他調査より良好であった。先行きは-7.7と悪化し、マイナスに転じたほか、日本商工会議所調査と入れ替わり、埼玉県調査ともほぼ並んだ。

■卸売業 川口市だけが先行き悪化傾向



川口市の卸売業売上高DIは10-12月、1-3月ともに0.0と横ばいで他調査より良好であった。先行きは日本商工会議所調査、埼玉県調査が回復するのに対して、川口市の卸売業は-15.4と大幅に悪化し、マイナスに転じた。

■小売業 今期・来期最下位に転落



川口市の小売業売上高DIは10-12月-16.7とマイナスだが他調査よりも良好だった。しかし1-3月、先行きは日本商工会議所調査、埼玉県調査に比べ大幅に悪化しており、特に川口市の小売業の厳しさがうかがえる。